

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1868	明治元年	2	3	浜坂村三役が、縫針250万本を質に、久美浜役所より銭札5000貫文を借用	
1868	明治元年	2	3		山陰道鎮撫使総督西園寺公望、二方郡に入り湯村に宿泊する
1868	明治元年	3	◎		井土村奈良柴彦右衛門家に天照皇大神宮のお札が下り三日三晩祝う
1868	明治元年	4	◎	京極飛騨守の封地を豊岡藩と称し、二方郡私領の村々は藩下に入る	
1868	明治元年	5	◎	久美浜県を置き、二方郡御料の村々は久美浜県に入る	
1868	明治元年	8	◎	久谷八幡宮別当大宝院春盛、修験道継続につき本寺に願書	
1868	明治元年	8	◎		前代未聞の大洪水が起こり、因州米の買い付けをする
1868	明治元年	◎	◎	浜坂村に商法会所を創立し、絹糸の取締りをする	
1868	明治元年	◎	◎	勝願寺に筆塚を建立	
1868	明治元年	◎	◎	久谷村窮民取調上帳	
1869	明治2年	2	◎	三成大明神、並に山元につき栃谷・七釜の濟口証文	
1869	明治2年	◎	◎	大洪水、二方神社の御神体が流れる	
1869	明治2年	◎	◎	芦屋浦に志摩の相添村弥三郎が難船	
1869	明治2年	11	◎	二方郡御料に大郷長をおく、浜坂村長十郎命ぜられる	
1869	明治2年	◎	◎	浜坂村が縫針を質に、銭券借用	
1869	明治2年	◎	◎	博労取糺法則あり	
1870	明治3年	1	◎	大庄屋・中庄屋の称号をやめて大郷長・中郷長とする	
1870	明治3年	1	◎	三尾村が困った人を助ける食糧またはお金を出した者は、村の会合の時の席次を決めることとした	
1870	明治3年	9	◎	三尾浦で因幡賀露浦の政治郎(55石積)船が難船	
1870	明治3年	10	5	森周一郎が浜坂字西岡、宇都野神社鳥居の北側に分家し、私塾味道館を開く	
1870	明治3年	10	◎	豊岡藩の米船、兵庫港より米300石を積み帰途、芦屋浦で沈没	
1870	明治3年	10	◎	三尾村が凶年に備えるため規則をつくり「救荒社」発足	
1870	明治3年	◎	◎		霧滝から青下までの水力発電用の水路完成

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1871	明治4年	2	◎	浜坂門陀町より出火(11軒焼失)	
1871	明治4年	5	18	大洪水で堤防大破	
1871	明治4年	7	14	廃藩置県により、豊岡藩が豊岡県となる	
1871	明治4年	10	◎	栃谷村外三カ村が普請の人夫に困り、2000両の借用願いを久美浜役所に提出	
1871	明治4年	10	◎	諸寄清富外四カ村が、堤防修理の金子借用願いを久美浜役所に提出	
1871	明治4年	10	◎	諸寄浦で佐渡相川の88船が難船	
1871	明治4年	12	◎	口組16カ村が、組合切手引揚に困り、七釜屋長十郎より、丁銭3500貫文借用	
1871	明治4年	12	◎	諸県を分合して、但馬に豊岡県をおき豊岡県の支配下となる	
1872	明治5年	4	3	七釜村が草木堤土手築上につき、栃谷村と争論、県庁の仲介で和解	
1872	明治5年	6	◎		照来村、戸長役場を丹土に置く
1872	明治5年	11	9	太陽暦採用布告。12月3日を明治6年1月1日とする	
1872	明治5年	◎	◎	浜坂商法会所を勧業所と変更	この年の春、春来で大火災「春木村」の名称を「春来村」に改める
1873	明治6年	5	3	浜坂村30石積船乗、仙助・半九郎と諸寄村船乗、平右衛門・吉十郎が、加露港で免許がないために、百石積につき1円の罰金をとられた件で、豊岡県参事宛歎願状提出	
1873	明治6年	8	◎	田井・指杭村が山海での諸仕事のとりきめをつくる	
1873	明治6年	8	◎	境・藤尾等七カ村が大美山につき争い約定書を交換	
1873	明治6年	11	◎		杉山小学校設立(現、奥八田小学校)
1873	明治6年	12	8	三尾村戸長・副戸長より、沖ノ浦出張所宛、能州沖船頭治三郎船難船の報告書提出	
1874	明治7年	4	20	対田にあった旧豊岡藩の米倉の一部を借りて、対田小学校創立	
1874	明治7年	4	◎		竹田・泰雲寺に竹田小学校設立(現、八田小学校)
1874	明治7年	5	22	藤尾村と鹿間村が合併、藤尾村となる	
1874	明治7年	5	23		照来小学校創立(多子村に本校、飯野・祖岡に支校を置く)
1874	明治7年	5	29	民家を借りて、小学校栃谷校開校	
1874	明治7年	7	◎	清富村用係り、田中助八郎が、岸田川の川筋替願いを提出	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1874	明治7年	8	15	井上寿一右衛門の家を借りて、簡易学校開設(現、浜坂北小学校)	
1874	明治7年	12	◎	三尾漁民一同が「沖漁規則」を定め村役人に提出	
1874	明治7年	12	◎	浜坂郵便局が、取扱所として開設	
1875	明治8年	1	20		公立小学校湯村学校創立(湯村の尾古主善氏の家を借りて仮校舎とする)
1875	明治8年	1	◎	浜坂郵便局を、五等郵便局と改称	
1875	明治8年	3	◎	本県下会議所より出された儉約規定に対し、三尾村中が惣代宛に連印で請書を提出	
1875	明治8年	4	◎	下田嘉七郎が、為世永神社に船絵馬寄進・明德丸	
1875	明治8年	5	6	立橋好平宅を借用して、諸寄小学校創立	
1875	明治8年	5	◎	藤尾村用掛り大森太郎左衛門が、鹿間への道を改修したいと、豊岡県に願書を提出	
1875	明治8年	8	◎	出雲国東岩板村第十区外谷が、鹿間の鹿田豊三郎より白炭2万俵を買う約束状を提出	
1875	明治8年	8	◎		杉山小学校から八田小学校に改称(現、奥八田小学校)
1875	明治8年	12	18		春來・万福寺に寺子屋を置く
1876	明治9年	1	14		大熊校(小学校)創立(善住寺)
1876	明治9年	1	24	三尾村が、蔵米13石2斗を68円68銭で、宇野又左衛門より借用	
1876	明治9年	4	1	対田小学校から久斗小学校に改称	
1876	明治9年	4	20	清富村等12カ村が連印で、岸田川の川替願提出	
1876	明治9年	5	15	小学校栃谷校と小学二日市校が合併	
1876	明治9年	5	◎	清富の楠田六左衛門が、浜坂学校保護人を申し付けられた	
1876	明治9年	5	◎		竹田小学校から月本小学校に改称し、千原に移転
1876	明治9年	9	1		警察湯村分屯所設置
1876	明治9年	9	27	居組釜屋組合立小学校創立(居組竜雲寺)	
1877	明治10年	2	4	対田の中井弥三郎が、対田にあった元豊岡藩旧役所建物敷地切石の類一切を99円45銭で買い取る	
1877	明治10年	2	17	清富村の田中与七郎が、岸田川の「換川歎願書」提出	
1877	明治10年	4	27	福富村が、橋梁渡銭1人3厘宛、12年間とることの願書を提出	
1877	明治10年	6	◎	諸寄小学校が、6月より明治11年8月まで龍満寺庫裏を仮校舎として移転	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1877	明治10年	◎	◎	鳥取県大羽尾村漁師、居組漁区に越境。詫状提出。	
1878	明治11年	4	11	三尾村の中村長治郎が、兵庫県令森岡昌純宛「魚定市場営業願」を提出	
1878	明治11年	9	1	田井・清富・指杭の三カ村境につき、指杭村より県令に歎願書提出	
1878	明治11年	9	◎	諸寄小学校が、9月より諸寄村にある元勸業所を校舎に使用する	
1878	明治11年	10	◎	諸寄・芦屋入山論につき、芦屋村より県令に「上伸書第一号」を提出	
1878	明治11年	11	14	指杭村が、村の歴史と糸城山論について記した「官民有地区分之儀二付伺」を提出	
1878	明治11年	11	20	三尾村が「村称願」を県令に提出	
1878	明治11年	12	28	高末村地内字引谷・親谷等につき、高末・対田・二日市・福富・正法庵が争っていた山論が終わり、証書を取り交わす	
1879	明治12年	3	10	清富村田中与七郎が、七美・二方郡長小林如雲宛、岸田川の「川換目論見略明細記」を提出	
1879	明治12年	5	◎	湯村にあった第七区区務所を浜坂に移し、湯村屯所も浜坂に移転	
1879	明治12年	7	6	諸寄にコレラが流行り、浜坂・諸寄の有志が義金	
1879	明治12年	7	7	浜坂小学校清富支校開校認可。田中与一郎宅を仮校舎として出発。世話係楠田六左衛門	
1879	明治12年	8	15		春来の寺子屋を湯村学校春来分校とする
1879	明治12年	10	28	七釜村渡辺菊之助が「人力車新調二付御俵印願」を提出	
1879	明治12年	10	28	居組龍雲寺火災、学校所持品皆焼失、同寺内の薬師堂を仮校舎とする	
1879	明治12年	◎	◎	医師社中が、二方郡の小学校9校に種痘実施	
1879	明治12年	◎	◎	二方郡春来村より諸寄までの県道、2里35町を4200円で完成	
1880	明治13年	4	◎	諸国に悪病流行、三谷村は衛生委員2名選挙。この上は兩人に迷惑をかけない旨、村中で申し合わせる	
1881	明治14年	1	20	清富村の田中与七郎が、岸田川の川筋替について、寄附明細をそえて、県会に願書提出	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1881	明治14年	2	27	清富村の田中与七郎が、岸田川の川換につき、実施検査願提出	
1881	明治14年	7	◎	浜坂五等郵便局が、四等郵便局と改まる	
1881	明治14年	11	20	大栃川の洪水により諸寄小学校校舎流出	
1881	明治14年	12	◎	諸寄小学校が12月より明治17年10月まで、龍満寺庫裏の一部を仮校舎として移転	
1881	明治14年	◎	◎	大庭小学校が戸田村33番地に校舎を移転	
1881	明治14年	◎	◎	豊岡警察署浜坂分署設置	
1881	明治14年	◎	◎	二方郡春來村より諸寄までの県道、1里1町を2800円で完成	
1882	明治15年	4	1		公立小学校湯村学校から村立湯村小学校に改称
1882	明治15年	5	5	二方郡浜坂組戸長森孫一郎が、同組学務委員を申し付けられた	
1883	明治16年	10	◎		八田小学校・海上支校開校
1883	明治16年	◎	◎	大庭小学校の校舎が狭くなり、七釜の玉田寺を使用	
1883	明治16年	◎	◎		照来小学校飯野支校は、飯野小学校として独立(M26.10.20廃校)
1884	明治17年	3	15	三尾村が、小西勘左衛門に字長持の鯛あと場を代金6円50銭で売却	
1884	明治17年	7	16	簡易学校(現、浜坂北小学校)字下の町に校舎新築(敷地419坪・建坪65坪3合)	
1884	明治17年	7	◎	和田村に校舎を建て、村立和田小学校と称す	
1884	明治17年	10	◎	諸寄小学校校舎新築落成(二階付)・移転(静岡町397番地、八坂神社の神田)	
1885	明治18年	1	1		浜坂分署、湯村交番所と改称
1885	明治18年	1	◎	浜坂黒住協会が、説教所として発足	
1885	明治18年	5	14	浜坂小学校の森ためさんが、初等科卒業にあたり七美二方郡役所より商品としてかざしをもらった	
1885	明治18年	5	18	「小作米不納取立値段表」に「大洪水」と記されている	
1885	明治18年	5	◎	浜坂郵便局が、貯金取扱事務開始	
1885	明治18年	6	◎		八田小学校から岸田小学校に改称
1885	明治18年	7	15	「近来民間不景気の上、水害もあり、不穩の状況があるが、学校の廃校・休校などまかりならぬ」との、七美二方郡長代理の通達が出た	
1885	明治18年	10	5~8	七美二方郡総合第1回勸業会が開かれ、35人が協議	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1886	明治19年	1	18	戸長役場より村惣代へ、自家用種類を隠造しないようにとの通知あり	
1886	明治19年	4	10	小学校令公布、尋常小学校4年、高等小学校4年の二段階、尋常小学校の課程を義務教育とする	
1887	明治20年	1	13	芦屋村が1年間の村規則制定	
1887	明治20年	4	1	小学校栃谷校から大庭簡易小学校に改称	
1887	明治20年	4	1	諸寄小学校から諸寄簡易小学校に改称	
1887	明治20年	4	1	居組釜屋組合立小学校から居組簡易小学校に改称	
1887	明治20年	4	1		照来小学校から照来簡易小学校に改称
1887	明治20年	4	1		温泉村立神谿簡易小学校
1887	明治20年	4	◎	前田純孝が二方郡諸寄簡易小学校入学	
1887	明治20年	4	◎		月本小学校と千谷支校がともに簡易小学校に改称
1887	明治20年	5	20		湯村学校春来分校が春来簡易小学校と改称し独立校となる(春来小学校創立記念日)
1887	明治20年	6	◎	黒住教会の説教所を黒住教浜坂講社と改称	
1887	明治20年	10	20	三尾漁業組合と城崎郡下浜村が、漁場区域定約書交換	
1887	明治20年	12	3	二方郡二方庄七カ村が道路改修を議決	
1887	明治20年	12	14	清富・指杭・田井・和田・三尾総代連印で、字忍谷ヶ鼻より対田境に至る里程改修約定書制定	
1887	明治20年	◎	◎		大熊校から簡易熊谷小学校となる。
1888	明治21年	2	24	「本年5月、例年通り六カ村の年の市につき、4日より11日まで、通風よけをしたい」との願書提出	
1888	明治21年	8	18	「本月19・20日、盆市につき4日門先官有地に2尺通り、店を出させてほしい」との願書提出	
1888	明治21年	12	10	七美郡第一回水陸産物共進会に於いて、西村理一郎が、大豆一等賞を受ける	
1889	明治22年	4	1	町村制施行。東浜村(八ヶ村が合併)、西浜村、大庭村誕生	
1889	明治22年	4	1		町村制施行。湯村外十か村を併せ温泉村とする
1889	明治22年	4	1		町村制施行。桐岡村外六か村を併せ照来村とする。同時に粗岡村は、射添村の所属となる。
1889	明治22年	4	1		町村制施行。千谷村外九か村を併せ八田村とする。竹田はこのとき温泉村の所属となる。
1889	明治22年	8	17	大洪水があり	
1889	明治22年	11	10	七美・二方両郡第3回水陸産物共進会に於いて、谷本文十郎が米五等賞を受ける	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1889	明治22年	◎	◎	二方郡諸寄村より居組間県道1里8町を4173円で完成	
1890	明治23年	4	◎		温泉村役場新築
1890	明治23年	5	13	浜坂鬮網連中と指杭村とが、海境につき、従来通りとの「約定証」を交わす	
1890	明治23年	7	11	第三回内国勸業博覧会に於いて、西村瀨一郎が粳米住民賞を受ける	
1890	明治23年	8	23	大洪水あり	
1890	明治23年	11	1		村岡区裁判所湯村出張所と改称
1890	明治23年	12	◎	指杭村15軒が連印で、稼場が狭くなったので、土地売却は勝手にしないよう「村規定証」を制定	
1891	明治24年	8	1	諸寄簡易小学校から諸寄尋常小学校に改称	
1891	明治24年	8	1	居組簡易小学校から居組尋常小学校に改称	
1891	明治24年	12	11	東浜村町制施行、浜坂町と改称	
1891	明治24年	12	28	立橋好平が、兵庫県神官取締局より、七美・二方郡神官取締を命ぜられる	
1891	明治24年	12	◎	指杭村が、田井字釜谷の山二ヶ所を新たに共有山としたことにつき、村中連印で「永年規約簿」を制定	
1892	明治25年	1	8	大庭簡易小学校から大庭尋常小学校に改称	
1892	明治25年	3	8	釜屋火災。罹災民救助に50銭を寄附した浜坂の米田定助が、11月18日付で浜坂町長中西庸から賞状をもらう	
1892	明治25年	3	28	前田純孝、諸寄小学校尋常科卒業	
1892	明治25年	4	1		温泉村立神谿尋常小学校
1892	明治25年	4	1		大熊小学校から熊谷尋常小学校に改称
1892	明治25年	4	1		春來簡易小学校から春來尋常小学校に改称
1892	明治25年	4	1		各簡易小学校(日本小学校・千谷支校)を廃止統合し、八田尋常小学校と改称し、鐘尾字鳴鐘橋に移転
1892	明治25年	4	1	久斗小学校から久斗尋常小学校に改称	
1892	明治25年	4	1	M24.8.4、海難救助(人命救助)により、岡本為五郎が秋田県知事より、感謝状を受ける	
1892	明治25年	4	1	和田にあった和田小学校が赤崎に移され、町立赤崎尋常小学校と改称	
1892	明治25年	4	◎		岸田小学校から岸田尋常小学校に改称
1892	明治25年	4	◎	浜坂郵便局が、電信事務の取扱い開始	
1892	明治25年	4	◎	寄附を募り、居組向町に居組小学校校舎建築	
1892	明治25年	5	9	第五回七美・二方水陸物産共進会開催	
1892	明治25年	7	◎	森孝一郎が、二方郡養蚕業組合副組合長に当選	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1892	明治25年	8	6	赤崎尋常小学校を細見尋常小学校と改称	
1892	明治25年	10	16	三尾の小西とよが、あご網場一ヶ所を代金6円で向根松二郎に売却	
1892	明治25年	10	28	細見尋常小学校(赤崎)を三和崎尋常小学校と改称	
1892	明治25年	11	9	久斗山地区の長井小学校の分教場が西長井小学校と命名され独立(のちの久斗山小学校)	
1892	明治25年	11	11		二方郡各町村組合蓄牛品評会を湯村で初めて開催
1892	明治25年	12	17	簡易学校(現、浜坂北小学校)夜半失火により校舎及び書類焼失	
1892	明治25年	◎	◎	諸寄の日浦政吉が養蚕伝習所を建設。飼育方法の改善を導入し、西洋飼といわれた	
1892	明治25年	◎	◎		簡易熊谷小学校から熊谷尋常小学校に改称
1893	明治26年	1	20		温泉村立神谿尋常小学校から温泉村立温泉尋常小学校に改称
1893	明治26年	2	7	居組小学校・諸寄小学校御真影拝受	
1893	明治26年	3	15		八田尋常小学校から口八田尋常小学校に改称
1893	明治26年	3	15		岸田尋常小学校から奥八田尋常小学校に改称
1893	明治26年	4	15	浜坂針神社建立	
1893	明治26年	5	4	浜坂満願寺に自由党総理板垣退助一泊。政治懇談会を開いた	
1893	明治26年	9	10		口八田尋常小学校校舎落成開校式(八田小学校創立記念日)
1893	明治26年	9	26	大庭尋常小学校新校舎上棟式(栃谷村字村の下)	
1893	明治26年	9	10		奥八田尋常小学校が石橋に移転・新校舎竣工
1893	明治26年	10	15	簡易学校(現、浜坂北小学校)大洪水のため校舎建築案など流失	
1893	明治26年	10	20		照来村立照来簡易小学校から照来尋常小学校に改称。飯野簡易小学校廃止。
1893	明治26年	7	◎	森梅園が、鳥取市上町に味道館を移転	
1893	明治26年	9	5	大洪水、山崩れ、和田・久谷死亡60人	
1893	明治26年	9	5~6	大洪水。久谷死亡11人、負傷者数拾人	
1893	明治26年	9	◎	大洪水があり、堤防・耕地ほとんど全滅、復旧に約2年を要した(西浜村)	
1893	明治26年	10	14	久斗川大洪水、和田川土砂崩れ、死者多数。久斗小学校床上7寸浸水、10月末まで臨休	
1893	明治26年	12	1		村岡警察署湯村分署となる
1893	明治26年	12	◎		奥八田尋常小学校・海上分教場開設
1893	明治26年	◎	◎	公債により費用をつくり、諸寄駐在所建築	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1894	明治27年	5	1	浜坂尋常小学校、芦屋の浜で春季運動会実施	
1894	明治27年	5	1	藤田治右衛門が、七美・二方尚武会西浜村委員を依嘱された	
1894	明治27年	9	11	大水のために大庭小学校は、約2mも水につかり校舎破損	
1894	明治27年	9	11	暴風雨で指杭村の5軒が家屋・農具等破損、救助願を提出	
1894	明治27年	10	◎	大陸で戦う兵士を思い、二方郡では1戸2～3足の“つまご”の献納を計画	
1894	明治27年	11	18	第七回七美・二方両郡各町村組合水産物共進会において、森孝一郎の蚕種「銀錦」が四等賞を受ける	
1894	明治27年	11	27	浜坂小学校は、11月21日の旅順口の戦勝を祝して、宇都野神社に参拝	
1895	明治28年	1	8	居組村漁民10人が、田後村沖合で手操網をおろし乱闘となる。(3月8日、鳥取地裁で居組漁民有罪確定)	
1895	明治28年	1	◎	浜坂小学校は、征清軍隊の労苦を思い、各教室の炭火を止めにした	
1895	明治28年	3	9	両陛下大婚満25年の御祝典にあたり、諸寄小学校は、天長節に準じ、儀式挙行	
1895	明治28年	4	16	久斗・浜坂・大庭の三小学校が合同して、藤尾の奥、亀谷山に修学旅行	
1895	明治28年	5	17	日清戦争の戦勝を祝し、浜坂小学校が浜坂町字水尻で大運動会	
1895	明治28年	5	18	日清戦争の戦勝を祝し、久斗・大庭小学校が合同して和田河原で大運動会	
1895	明治28年	5	19	日清戦争の戦勝を祝し、諸寄小学校が戦勝祝賀行進実施	
1895	明治28年	6	10～	久斗小学校が農繁休業	
1895	明治28年	6	◎	浜坂村にコレラ発生、祭りが延期される。死者43名	
1895	明治28年	7	1	簡易学校(現、浜坂北小学校)に高等科を併設し、浜坂尋常高等小学校に改称	
1895	明治28年	7	11	第四回内国勸業博覧会で、浜坂町の米田弥右衛門の牝牛が三等賞を受ける	
1895	明治28年	7	31	大庭小学校が、諸寄村高山治左衛門持帆前船見学の帰路、諸寄小学校に立ち寄る	
1895	明治28年	8	31～ 9/24	浜坂にコレラ流行、浜坂小学校休校	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1895	明治28年	12	6	松岡永蔵が、浜坂町立勸業委員に当選	
1895	明治28年	◎	◎	大庭小学校が、初めて楽器風琴(オルガン)を購入	
1896	明治29年	1	◎	浜坂町凱旋軍人慰労会	
1896	明治29年	3	24	午後1時頃奥諸寄出火、24戸焼失	
1896	明治29年	4	1	郡制による郡再編により、七美郡(村岡町、兎塚村、射添村、小代村、熊次村)、二方郡(浜坂町、大庭村、西浜村、温泉村、照来村、八田村)が合併	
1896	明治29年	6	21	浜坂小学校高等科生徒が、鳥取県賀露港の軍艦「橋立」「和泉」を見学旅行、出港後のため一転して網代港で見る	
1896	明治29年	9	30	新任の美方郡長が、諸寄小学校を巡視	
1896	明治29年	11	28	浜坂小学校新校舎竣工式	
1896	明治29年	11	◎	浜坂町尚武会創立	
1896	明治29年	12	23	久斗小学校校舎新築の大祝賀会	
1896	明治29年	◎	◎	浜坂郵便局が、郵便小包取扱開始	
1897	明治30年	3	4	株式会社二方銀行営業開始	
1897	明治30年	4	1		温泉尋常小学校から温泉尋常高等小学校となる
1897	明治30年	4	16		八田高等小学校開校
1897	明治30年	5	13		照来尋常小学校が桐岡字前原に新築移転
1897	明治30年	5	◎	諸寄小学校が随意科として裁縫科加設	
1897	明治30年	6	1	日清戦争の際、献納金品に協力した米田定助らが、兵庫県知事より褒状を受ける	
1897	明治30年	8	18		大洪水のため堤防に被害(照来村会議事録)
1897	明治30年	9	6	前田純孝が、諸寄小学校准訓導に任ぜられた	
1897	明治30年	11	12	第二回水産博覧会で、中村国太郎が、二番鰯有功三等賞を受ける	
1897	明治30年	◎	◎	「以外の糠虫にて大不作なり・・・」との記録あり	
1898	明治31年	2	27	美方郡教育展覧会を浜坂小学校で開催	
1898	明治31年	3	12	諸寄小学校准訓導前田純孝が、依願退職	
1898	明治31年	3	26	久斗小学校に学校医を置く	
1898	明治31年	9	15	大日本水産会の第七回水産品評会で、中村国太郎の二番鰯が優秀賞を受ける	
1899	明治32年	1	28	奥諸寄大火、18戸焼失	
1899	明治32年	2	◎	諸寄港回船同業組合が、港の改修募金を訴えた文書を提出	
1899	明治32年	3	◎	加能汽船会社の大阪－舞鶴定期船、扶桑丸・加能丸が、浜坂港へ寄港	
1899	明治32年	3	29	篠原禄次(無然)、諸寄小学校尋常科卒業	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1899	明治32年	6	7	ハシカの大流行。久斗小学校は、24日まで臨時休校、7月中も欠席者多数。	
1899	明治32年	7	◎	諸寄小学校が、寄附で初めて風琴(オルガン)を購入	
1899	明治32年	10	◎	赤崎小学校が浜坂小学校と合併し、第一分教場となる	
1899	明治32年	11	1	諸寄郵便局が、諸寄村郵便受取所として事務開始	
1899	明治32年	12	◎		温泉村に電信開通
1899	明治32年	12	31	諸寄小学校が、卒業生の校友会創設	
1900	明治33年	3	◎	田井村火災	
1900	明治33年	4	◎	浜坂生産販売購買組合設立	
1900	明治33年	5	12	全国貿易品博覧会で、小林与助の縫針が入賞	
1900	明治33年	7	5	久斗小学校の校舎が狭いので、高末に分教場を設置	
1900	明治33年	12	◎		温泉尋常高等小学校の校訓を「至誠」とする
1901	明治34年	1	◎		八田村農会創立
1901	明治34年	2	23	M33.3の田井村火災の罹災者救助として30銭を寄附した浜坂の米田定助が、浜坂町長井上謙造から賞状をもらう	
1901	明治34年	3	◎		照来村農会創立
1901	明治34年	4	1		口八田尋常小学校から八田尋常高等小学校に改称
1901	明治34年	4	4	久斗小学校が、女子に裁縫を正科とする	
1901	明治34年	4	26	浜坂町字御屋敷町の劇場で浜坂町町会議員定期改選	
1901	明治34年	4	26		八田尋常高等小学校校舎増築落成式
1901	明治34年	5	6	諸寄尋常小学校に高等科を併置し、諸寄尋常高等小学校と改称。創立記念日・日清戦勝記念日・高等科併置の三つの記念儀式挙行	
1901	明治34年	5	12	久斗と大庭の小学校が、役場の職員と共に観音山の山頂で面白く遊戯をし、午後5時帰校	
1901	明治34年	6	9	久斗小学校が、苗代の害虫駆除を行う。数の多い者に役場から商品授与。以後、毎年の行事となる。	
1901	明治34年	6	12	浜坂小学校が初めて「蛾取り」を実施	
1901	明治34年	8	2	国・指定文化財(彫刻・木造十一面観音菩薩立像、清富・相応峰寺)	
1901	明治34年	9	3		熊谷尋常小学校が善住寺から熊谷850番地に移転
1901	明治34年	9	◎	美方郡産牛組合設立	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1901	明治34年	11	13	諸寄に大火あり、全焼20戸、半焼1戸	
1901	明治34年	11	24	諸寄に火災あり、全焼4戸	
1901	明治34年	12	24		熊谷尋常小学校の桧尾家庭教育所を開設
1901	明治34年	12	30		照来村役場庁舎落成。桐岡字前原に移転
1902	明治35年	1	22	浜坂223番地に、浜坂商業株式会社設立	
1902	明治35年	1	◎		奥八田尋常小学校・山籠家庭教育所開設
1902	明治35年	2	26		伊角に大火あり37戸全焼
1902	明治35年	4	1		照来村立尋常小学校に高等科を設置し照来尋常高等小学校と改称
1902	明治35年	5	24	久斗と大庭の小学校が、合同で田井の舒陽菴広場で運動会。また、田井ノ浜で修学旅行として、各自を乗船させ、海国男子たるの気風を養う	
1902	明治35年	5	29	美方郡長、郡視学、郡書記諸寄小学校参観	
1902	明治35年	8	22	第二回但馬各郡連合繭共進会で、西村理一郎の「小石丸」が、入賞	
1902	明治35年	10	◎	居組漁業組合創立	
1902	明治35年	12	25		八田尋常高等小学校校舎増築棟上式
1902	明治35年	◎	◎	諸寄の田中林兵衛らが、共同稚蚕飼育及び共同販売乾繭場設立	
1902	明治35年	◎	◎	居組にコレラ患者発生。これを機として、諸寄の川辺に避病舎を建築	
1903	明治36年	1	21	大庭村新市村の火災の際、救助として1円を寄附した小林与七郎が、兵庫県知事服部一三から賞状をもらう	
1903	明治36年	3	18	漁業法実施につき、浜坂・芦屋両村出漁規定制定	
1903	明治36年	5	◎	海規則改正につき、浜坂村と指杭村が、海境のとりきめを制定	
1903	明治36年	6	18	浜坂生産販売購売組合設立	
1903	明治36年	6	◎	三尾分教場が、浜坂町立三尾小学校として独立	
1903	明治36年	8	20	第三回但馬各郡連合蚕業共進会で、浜坂の森孝治のまゆ「青熟」と森孝一郎のまゆ「小石丸」が4等賞を受ける	
1904	明治37年	1	17		伊角大火
1904	明治37年	1	26		大雪で家屋倒壊7戸、死傷者1名、樹木・農作物被害多大。積雪量は春來で1丈4尺(約4.2m)
1904	明治37年	5	17	浜坂町出身者の多い歩兵第40聯隊は、日露戦争参加のため、屯営鳥取出発	
1904	明治37年	8	22	浜坂221番屋敷に、浜坂報徳社設立(S2.6.5解散)	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1904	明治37年	12	10		照来報徳社結成
1905	明治38年	6	1	日露戦争大海戦大勝を祝し、諸寄村は提灯行列実施	
1905	明治38年	6	3	大庭小学校は、バルチック艦隊全滅祝い行事実施	
1905	明治38年	◎	◎		仁連寺大火
1906	明治39年	1	1	諸寄村郵便受取所を諸寄郵便局と改称	
1906	明治39年	1	◎	戦死者をまつるため、浜坂宇都野に護国神社(招魂社)を創建	
1906	明治39年	3	◎	阪鶴鉄道が海運を兼業し、阪鶴丸が舞鶴・境間に就航。但馬地方にも就航することとなる	
1906	明治39年	4	1	播但線全線開通	
1906	明治39年	4	29	日露戦役に参加、奮闘し凱旋した松井軍左衛門に浜坂尚武会より感謝状授与	
1906	明治39年	4	◎	二方銀行が、株式会社共立商工銀行と改称	
1906	明治39年	5	1	浜坂町立裁縫女学校開校(老松町:T7.4浜坂技芸女学校、S22.3閉校)	
1906	明治39年	7	5	大庭村藤尾村火災の際、金1円を寄附した戸田村の小林与七郎が、兵庫県知事服部一三から賞をもらう	
1906	明治39年	11	21	諸寄村の前田純正外46名が「山陰鉄道停車場の設置」を逓信大臣山県伊三郎に請願	
1907	明治40年	2	◎	諸寄繁栄同盟社設立	
1907	明治40年	4	1	境集落に久斗尋常小学校・分教場設置	
1907	明治40年	5	6		伊角大火(46戸中38戸罹災)
1907	明治40年	5	27	バルチック艦隊全滅2周年の祝意を表するため、諸寄小学校は、午前中岡の浜にて運動会実施	
1907	明治40年	7	17		有限責任口八田信用組合設立
1907	明治40年	7	25		照来尋常高等小学校・校舎増築落成
1907	明治40年	8	◎	二方神社1050年祭	
1907	明治40年	10	7	浜坂宇都野神社境内にて、西浜・浜坂・大庭三カ村の各小学校連合運動会実施	
1907	明治40年	11	◎	諸寄青年会発足	
1907	明治40年	◎	◎	浜坂小学校が初めて蓄音機を購入	
1907	明治40年	◎	◎	居組小学校が村内より寄附募集。風琴(オルガン)1台購入53円	
1907	明治40年	◎	◎	居組と鳥取県田尻村と漁業権争いあり、両県が立ち合い解決	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1907	明治40年	◎	◎	浜坂尋常高等小学校第一分教場を、赤崎分教場と改称	
1907	明治40年	◎	◎		八田村在郷軍人会組織
1908	明治41年	2	1	明治38年に宮城・福島・岩手三県下凶作窮民救恤として40銭を寄附した浜坂の米田定助が、三県知事より賞状を受ける	
1908	明治41年	4	1	浜坂小学校二階建二棟増築(尋常科13学級、高等科2学級、計15学級)	
1908	明治41年	5	4	浜坂裁縫学校と浜坂小学校高等科2年の生徒が、春蚕を試育	
1908	明治41年	9	1	久斗尋常高等小学校増築(二階建て4教室)	
1908	明治41年	11	3	大庭小学校新校舎落成式	
1908	明治41年	11	25		熊谷尋常小学校の校地拡張増築(2階建1棟)
1908	明治41年	◎	◎	居組小学校が6力年制となる	
1908	明治41年	◎	◎	浜坂小学校で初めてシンガーマシン購入、裁縫学校生徒に教授	
1908	明治41年	◎	◎	諸寄の青年夜学会、壮丁教育開始	
1909	明治42年	2	◎	三尾信用購売生産販売組合設立	
1909	明治42年	3	◎	浜坂に天理教照来宣教所開設	
1909	明治42年	5	15	居組尋常小学校新校舎完成(宮の前・平屋建)	
1909	明治42年	7	12		八田尋常高等小学校校舎増築(2階建4教室)棟上式
1909	明治42年	8	7	第1回兵庫県水産共進会で、中村国太郎・中村長助の鰯が入賞	
1909	明治42年	8	◎	美方郡水産組合設立	
1909	明治42年	◎	◎		桧尾村大火
1910	明治43年	1	18		牛峯寺類焼
1910	明治43年	5	25	浜坂小学校が、大楠公記念会を実施	
1910	明治43年	6	◎	藤尾・辺地・正法庵・高末・対田・二日市が、大美山を境村分にせぬよう、大庭村長に「堺村分森林解除願」を提出	
1910	明治43年	9	12	逓信大臣後藤新平、山陰視察の途次、浜坂小学校に記念植樹	
1910	明治43年	9	18	第九回但丹連合蚕業共進会で西浜村の山口新左衛門の繭が入選	
1910	明治43年	9	18		八田村青年会創立
1910	明治43年	11	9	第一回城崎・美方・二方連合水産共進会で、中村長助の二番鰯が三等賞を受ける	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1910	明治43年	◎	◎	田井の舒陽庵を楞嚴寺に合併	
1910	明治43年	◎	◎	浜坂の川越定助が、さわら流網漁法を試みてから沖合漁業は発展した	
1911	明治44年	1	◎	有限責任高末信用組合設立	
1911	明治44年	2	1		有限責任岸田区信用組合創立
1911	明治44年	2	11	山陰線桃観トンネル工事貫通	
1911	明治44年	2	◎	浜坂町役場新築落成	
1911	明治44年	4	1		奥八田尋常小学校から奥八田尋常高等小学校に改称
1911	明治44年	3	10	陸軍記念日につき、浜坂小学校では、男子はうさぎ狩り、女子は釜屋に遠足	
1911	明治44年	4	15	諸寄小学校の5年生が、遠足で鳥取聯隊を見学	
1911	明治44年	4	26		有限責任奥八田信用組合創立
1911	明治44年	4	◎	浜坂高見町で大火、30戸焼失	
1911	明治44年	5	25	諸寄小学校の細見校長が、壮丁学力試験のため、湯村へ出張	
1911	明治44年	6	16	諸寄小学校が害虫駆除作業。蛾1261、卵880採取	
1911	明治44年	6	◎	久斗山蚕業組合が「生産繭販売規定」制定	
1911	明治44年	10	12	第二回兵庫県水産共進会で松原清一の鰯が、三等賞を受ける	
1911	明治44年	10	18	姫路市外十六郡聯合蚕業共進会で、米田定助が春蚕繭で知事賞を受ける	
1911	明治44年	10	24		美方郡醸酒業者組合設立(杜氏数:村岡町51、小代村14、射添村154、温泉町19、照来村9、八田村3、計250)
1911	明治44年	11	10	山陰線岩美～浜坂間開通。国鉄浜坂駅・居組駅開業。諸寄小学校がはじめての汽車利用の遠足	
1911	明治44年	11	11	居組駅開通祝賀式(M44.11.10開業)	
1911	明治44年	11	12	鉄道開通により、浜坂小学校児童360名が、鳥取市へ修学旅行	
1911	明治44年	11	28	諸寄小学校の全生徒が、釜屋村の入営兵士を送る	
1911	明治44年	12	20	浜坂電燈株式会社設立	
1912	明治45年	3	1	国鉄久谷駅開業	
1912	明治45年	3	1	香住～浜坂間が開通し、山陰線京都～出雲今市間全線開通	
1912	明治45年	3	◎		有限責任飯野報徳信用購買販売組合創立
1912	明治45年	6	◎	諸寄小学校は、明治天皇ご快癒祈願	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1912	明治45年	7	28	大庭小学校は、長田神社、大家神社で明治天皇のご病氣快復を村民と共に祈願	
1912	大正元年	9	23	大洪水、田君川・岸田川の堤防が切れ、大庭小学校が浸水	
1912	大正元年	9	23	暴風雨のため諸寄小学校も民家も大被害	
1912	大正元年	10	1	久斗山(旧長井村)が大庭村に編入	
1912	大正元年	10	1	久斗山地区の大庭村編入により西長井小学校に境分校を併し久斗山尋常小学校と改称	
1912	大正元年	10	1	久斗小学校・久斗山小学校連合運動会	
1912	大正元年	10	12	大庭小学校児童は、久斗山小学校までお祝いに行く	
1912	大正元年	10	21	第二回城崎美方二郡連合水産共進会で、中村国太郎・谷口孫七の二番鰯が二等賞を受ける	
1913	大正2年	1	◎	浜坂電燈株式会社営業開始(M44.12.20設立)	
1913	大正2年	1	◎	芥助幼稚園、中本町に開設	
1913	大正2年	2	8	居組信用組合設立(T12.2.8解散)	
1913	大正2年	2	◎		照来尋常高等小学校校舎改築落成
1913	大正2年	3	31		温泉村消防組設置
1913	大正2年	4	1	久斗尋常小学校から久斗尋常高等小学校に改称、増築(二階建て4教室)	
1913	大正2年	10	12	第十回但丹連合蚕業共進会で、山本治一郎の春蚕繭が三等賞を受ける	
1913	大正2年	11	17	第六回美方郡農会農産品評会で、山本謙治の白菜が二等賞を受ける	
1914	大正3年	1	◎	太田平吉校長の尽力により、諸寄の各部落に処女会が作られた	
1914	大正3年	3	31	大庭尋常小学校から大庭尋常高等小学校に改称	
1914	大正3年	4	21		豊岡区裁判所湯村出張所と改称
1914	大正3年	11	8	11/7の青島陥落を祝し、諸寄では祝賀会、旗行列、提灯行列実施	
1914	大正3年	12	2	居組青年夜学会開設	
1914	大正3年	12	18	陸軍大将福島安正来町、浜坂小学校児童は、出迎える	
1914	大正3年	12	19	陸軍大将福島安正が諸寄小学校に立ち寄り、講演後、校庭東隅に記念の松を植樹	
1914	大正3年	12	◎	浜坂に電話開通	
1914	大正3年	12	◎		温泉村に電話開通
1915	大正4年	1	◎	浜坂郵便局が、浜坂1202番地に新築落成	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1915	大正4年	2	16	2/16から4日間、久斗小学校職員は、就学を進めるため各部落に出張	
1915	大正4年	5	29	久斗小学校児童が、苗代の螟虫卵採集	
1915	大正4年	7	◎	浜坂針業者が、町長に「浜坂針再建旨意書」を提出	
1915	大正4年	10	29	居組小学校が、御大典記念大運動会	
1915	大正4年	10	29	諸寄小学校が、大正天皇御真影奉戴	
1915	大正4年	11	10	大庭小学校講堂で、御大典記念祝賀会	
1916	大正5年	7	◎	美方郡青年団結成。他郡も7年頃までに郡青年会を結成	
1916	大正5年	8	29	小林勝治が、大庭村長高橋弥太郎より農商務統計調査委員を依頼された	
1916	大正5年	10	25	第三回兵庫県水産共進会で、浜辺栄蔵の改良漁船模型が、二等賞を受ける	
1916	大正5年	11	5	第一回但因三郡連合水産共進会で、中村長助の二番鰯が入賞	
1917	大正6年	4	3		薬師湯・浴場新館落成式
1917	大正6年	1	◎	諸寄小学校が大雪を利用して、大栃川辺で大雪合戦実施	
1917	大正6年	2	3	大雪で積雪6尺、浜坂小学校は、校舎の雪落しを実施	
1917	大正6年	4	◎		奥八田尋常高等小学校・山籠家庭教育所を山籠分教場に改称
1917	大正6年	4	◎		海上19戸焼失
1917	大正6年	5	15	浜坂小学校は、尋常5年以上が朝起会実施	
1917	大正6年	7	15	諸寄氏神祭。諸寄小学校は、全児童御旅所に参拝後、海上運動会	
1917	大正6年	7	23	本日より諸寄小学校は、遠泳練習開始	
1917	大正6年	7	28	諸寄小学校は、午後海上運動会。5年生以上20町水泳証明書授与	
1917	大正6年	9	23	浜坂町の朝起会員80名が、餘部鉄橋を見学、行程10里	
1917	大正6年	10	20	南但自動車(全但バスの前身)が、八鹿～大屋市場間19km・八鹿～関宮間14kmを8人乗りのフォード2台で開業	
1917	大正6年	11	11	浜坂町朝起会の宇野誠一が、大川金彌校長より賞状を受ける	
1918	大正7年	3	◎	諸寄小学校は、卒業旅行で豊岡へ	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1918	大正7年	4	18	3/8の居組港における人命救助で、岡本要蔵が帝国水難救済会より賞を受ける	
1918	大正7年	4	23	前田利一寄附の居組小学校校舎落成式	
1918	大正7年	4	◎	浜坂裁縫女学校が、浜坂技芸女学校となる	
1918	大正7年	5	11	居組尋常小学校校舎改築移転(二階建)	
1918	大正7年	5	13	大富座に於いて第9回尚老会	
1918	大正7年	5	19	浜坂共立商工銀行が新築落成	
1918	大正7年	5	◎	清富に初めて電燈がつく	
1918	大正7年	8	23	8/22夜、諸寄村内に「白米壹升廿五銭に廉売せざれば、放火すべし」との貼紙。以後27日まで因伯時報に関連記事	
1918	大正7年	9	13~		台風来襲(死者15名・家屋流失埋没25戸)
1918	大正7年	9	14	大洪水、浜坂・大庭・西浜大被害。死者も出る	
1918	大正7年	9	14	久斗川の大洪水により久斗山尋常小学校の校舎流出	
1918	大正7年	9	14		八田尋常高等小学校が大洪水のため2階建校舎1棟(M42建築)と忠魂碑を流失。八田村では死者15人、家屋流出埋没25、田畑被害67町歩。
1918	大正7年	11	◎	大庭小学校は流感73名、20日間休校	
1918	大正7年	12	13	浜坂2334番地の1に、浜坂倉庫株式会社設立	
1918	大正7年	12	28	本年米価暴騰に際し、これを救済するため外米廉売の事務に尽くした藤田治右衛門が、西浜村役場より慰労金10円を受け取る	
1918	大正7年	◎	◎	諸寄・居組、しいら漬に関する紛争調停成る	
1919	大正8年	2	21	浜坂1017番地の2に美方蚕業株式会社(蚕種製造)設立。(T13.5.13解散)	
1919	大正8年	4	◎		丹土で大規模地すべり
1919	大正8年	5	7	浜坂町では、皇太子殿下御成人につき拝賀式。児童は、提灯行列	
1919	大正8年	5	19	松江市の山陰オリンピック大会半哩リレーで大庭小学校は、射添小学校と合同して優勝	
1919	大正8年	6	19	居組水産補修学校開設	
1919	大正8年	7	1	浜坂町は宇都野神社において平和克服奉祝式。浜坂小学校児童も参列	
1919	大正8年	10	21	浜坂宇都野の体育会に、居組小学校も三年生以上が参加	
1919	大正8年	11	4	豊岡町において、山陰道町会開催。豊岡町長由利三左衛門はじめ、45名が会合	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1919	大正8年	11	8	射添校における美方郡児童オリンピック大会に、浜坂小学校選手出発	
1919	大正8年	11	10	美方郡オリンピック大会で、大庭小学校が優勝	
1919	大正8年	11	24	鳥取市吉方笥多四郎外1名、居組港外で魚釣中遭難。これを救助した居組青年会副会長西垣五郎衛門外14名が、美方郡長中山亥三次より受賞	
1919	大正8年	12	22	久斗山尋常小学校校舎落成	
1920	大正9年	3	10	陸軍記念日。浜坂小学校は、奉天の模擬戦を秋葉山・円山で実施	
1920	大正9年	5	6	招魂祭。浜坂小学校、青年、在郷軍人が余興運動会開催	
1920	大正9年	7	18	本郡東部野球協会が浜坂小学校で対抗野球試合	
1920	大正9年	7	26	有限責任久斗山信用購買販売組合設立(S3.4.30解散)	
1920	大正9年	7	◎	第43回議会を前に、浜坂町青年団有志が普選期成同盟会を組織し、趣意書を山陰をはじめ県下の主要都市に配布、普選即時実施を訴えた	
1920	大正9年	9	1	田井・指杭・清富の三青年団連合競技会を清富村グラウンドで開催	
1920	大正9年	10	20	久斗小学校秋季大運動会。諸寄・大庭・赤崎・三尾・久斗山小学校が参観	
1920	大正9年	10	24	但馬相撲大会に諸寄小学校高等科優勝	
1920	大正9年	10	29	諸寄に内外漁業株式会社設立(T13.5.3解散)	
1920	大正9年	11	14		八田尋常高等小学校が千谷字オミキ37に移転
1921	大正10年	3	3	東宮殿下御渡欧につき、浜坂小学校児童が宇都野神社に参拝	
1921	大正10年	3	19	浜坂小学校尋常5年以上鳥取市へ旅行、鳥取兵営を見学	
1921	大正10年	3	26		八田尋常高等小学校校舎新築落成式
1921	大正10年	3	◎	本年3月で居組より諸寄小学校高等科への通学廃止	
1921	大正10年	3	◎		丹土で大規模地すべり
1921	大正10年	4	10	株式会社浜坂銀行設立。藤田治右衛門就任	
1921	大正10年	4	◎		農業補習学校を各小学校に設置
1921	大正10年	5	◎	浜坂実業補習学校開校。	
1921	大正10年	9	3	浜坂小学校、皇太子殿下御帰朝奉祝式挙行	
1921	大正10年	9	21	浜坂補習学校生徒、舞鶴軍港見学	
1921	大正10年	10	2	浜坂小学校角力大会を栄福寺にて開催	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1921	大正10年	11	6	浜坂小学校が芦屋浜で歩兵大隊演習を観戦	
1921	大正10年	11	7	宇都野公園で、第7回美方郡第4支部体育会を開催	
1921	大正10年	11	16	鳥取連隊での観兵式を浜坂小学校尋常5年以上の120名が参観	
1921	大正10年	12	4	諸寄小学校が、職員室に初めて電灯を取り付ける	
1922	大正11年	1	9	大風で久斗小学校の体育館の屋根が、本館を越して裏山近くの田圃まで吹き飛んだ	
1922	大正11年	1	◎	西浜村に浜坂銀行出張所開設	
1922	大正11年	4	1	居組尋常小学校に高等科を併設、居組尋常高等小学校に改称	
1922	大正11年	5	5	美方陸送株式会社浜坂本店開業	
1922	大正11年	5	中頃	地堂1丁目大火	
1922	大正11年	6	9	宝製薬株式会社を浜坂町浜坂1876番地に設立	
1922	大正11年	9	10	敬愛幼稚園創立(園児35名)	
1922	大正11年	10	1	栄福寺において浜坂小学校主催、第二回相撲大会	
1922	大正11年	10	30	学制発布50年につき、浜坂小学校では記念式と記念音楽会	
1922	大正11年	11	10		熊谷尋常小学校の運動場拡張
1922	大正11年	11	◎	第4支部連合音楽会を大富座で開催	
1922	大正11年	12	◎	大庭信用販売購買組合設立	
1922	大正11年	◎	◎		八田村・奥八田婦人会創立
1923	大正12年	1	12	大正7年9月の災害復旧事業に尽くした元西浜村長藤田治右衛門が、西浜村個人災害復旧資金借入期成会副会長田中富蔵から200円を贈与された	
1923	大正12年	2	8	居組信用組合解散(T2.2.8設立)	
1923	大正12年	2	23	浜坂小学校の高等科と技芸女学校の生徒が、桃山御陵参拝旅行	
1923	大正12年	5	◎	浜坂の満願寺の南側に浜坂住宅組合により住宅が建築された(現在の東町3丁目)	
1923	大正12年	6	7	浜坂町浜坂1144番地に浜坂土地株式会社設立	
1923	大正12年	6	◎	諸寄区山林実測約220町歩と居組山林実測約80町歩を区より村有林に編入。官行造林法を施行	
1923	大正12年	7	16	少年相撲大会で、諸寄小学校が優勝	
1923	大正12年	7	28	浜坂小学校が末広座で音楽会を開く	
1923	大正12年	7	◎	湯村分署を合併して、浜坂警察署発足	
1923	大正12年	8	2	美方郡青年幹部養成講習会を田井の三力寺で開催	
1923	大正12年	11	10	久斗尋常高等小学校増築(二階建て4教室)	
1923	大正12年	11	10	暴風雨。清富・指杭・田井・和田・赤崎・三尾等被害	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1923	大正12年	11	20	末広座に於いて浜坂・大庭・西浜三力町村処女連合会開催	
1923	大正12年	11	21	諸寄婦人会創設	
1923	大正12年	12	1	末広座において4支部音楽会	
1923	大正12年	12	22	末広座において浜坂町婦人会発足式	
1923	大正12年	◎	◎		照来村に電灯架設
1924	大正13年	3	31	2月4日、由良亀吉が諸寄沖合にて人命救助をして、兵庫県知事より感謝状を受ける	
1924	大正13年	5	3	諸寄に内外漁業株式会社解散(T9.10.29設立)	
1924	大正13年	5	13	美方蚕業株式会社(蚕種製造)解散。(T8.2.21設立)	
1924	大正13年	7	14	浜坂の株式会社共立商工銀行休業	
1924	大正13年	10	上旬	鳥取の協立銀行浜坂支店、営業不振のため倒産	
1924	大正13年	10	30	諸寄小学校少年赤十字団結成式	
1924	大正13年	11	3	全国一斉体育デーのため、諸寄全区民運動会開催	
1924	大正13年	◎	◎	諸寄漁業組合寄附の一万円を以って、浚渫船雪浜号を造り、諸寄港浚渫作業を継続	
1924	大正13年	◎	◎		岸田川発電所完工
1924	大正13年	◎	◎		桧尾に電灯がつく
1925	大正14年	3	26		照来尋常高等小学校の木造新校舎落成
1925	大正14年	4	◎	居組の日曜修養会開設	
1925	大正14年	5	23	北但馬大震災(震源:円山川河口付近、M6.8)。浜坂でも建物に被害	
1925	大正14年	5	24	浜坂小学校は、豊岡の震災救助の慰問袋作成	
1925	大正14年	7	2		温泉尋常高等小学校の中央木造校舎竣工
1925	大正14年	7	◎	但馬農民組合期成連名発足。浜坂町を中心に組織づくりに入る	
1925	大正14年	8	1	久斗尋常高等小学校運動場拡張	
1925	大正14年	10	15	浜坂尋常高等小学校校舎建築移転(浜坂2620番地)	
1925	大正14年	10	21	諸寄奥町に大火、焼失民家82戸	
1925	大正14年	10	24	10/21奥諸寄大火につき、対田婦人会が白米2俵寄附	
1925	大正14年	◎	◎	諸寄畜産増殖改良組合設立	
1926	大正15年	2	19	郡長・視学が浜坂小学校に来校、「勤儉奨励」の講話	
1926	大正15年	3	◎	諸寄小学校高等科授業料廃止	
1926	大正15年	4	1	居組小学校に農繁期託児所開設	
1926	大正15年	5	15	有限責任浜坂町信用組合設立	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1926	大正15年	7	1	居組・諸寄小学校に青年訓練所設置	
1926	大正15年	7	1		青年訓練所設置
1926	大正15年	7	29	大出水、浜坂の漁船流失	
1926	大正15年	9	16	居組少年赤十字に登録認可	
1926	大正15年	12	11		熊谷尋常小学校の校舎増改築
1926	大正15年	12	17	諸寄小学校と居組小学校が大正天皇のご平癒祈願神社参拝	
1926	昭和元年	◎	◎		仁連寺大火
1927	昭和2年	1	10	敬愛幼稚園、兵庫県より設立認可(T11.9.10創立)	
1927	昭和2年	3	6		温泉尋常高等小学校の体育館竣工
1927	昭和2年	3	7	北丹後地震(震源、北緯35度37.9分、東経134度55.8分の丹後半島北部。午後6時27分39秒発生。M7.3)	
1927	昭和2年	4	15		温泉町が町政を施行(温泉村から温泉町へ)
1927	昭和2年	6	5	浜坂報徳社解散(M37.8.22設立)	
1927	昭和2年	7	27	4支部小学校連合水泳大会を塩谷で開催	
1927	昭和2年	◎	◎	浜坂町で最初のトラックによる運送営業を清水忠治が開始	
1928	昭和3年	3	3		温泉尋常小学校の講堂(体育館)竣工
1928	昭和3年	3	◎		奥八田尋常高等小学校・山籠分教場を霧滝分校と改称
1928	昭和3年	4	1		八田郵便局開設
1928	昭和3年	4	10	諸寄女子青年団発足(旧処女会)	
1928	昭和3年	4	11		照来郵便取扱所開設
1928	昭和3年	4	30	有限責任久斗山信用購買販売組合解散(T9.7.26設立)	
1928	昭和3年	4	◎	浜坂警察署及び署長官舎落成	
1928	昭和3年	4	◎	諸寄信用販売購買組合設立	
1928	昭和3年	10	10	諸寄・居組小学校、今上陛下御真影奉戴	
1928	昭和3年	10	18		春來尋常小学校校舎改築
1928	昭和3年	10	◎	西浜行バス開通	
1928	昭和3年	11	10	浜坂町は、御大典をお祝いして、町中仮装行列	
1928	昭和3年	11	10	居組区では、天皇ご即位記念として居組駅道に桜を植える	
1928	昭和3年	11	◎	高垣治三郎翁の碑建立	
1928	昭和3年	◎	◎		桧尾分教場改築落成
1929	昭和4年	5	10	教育会主催の養老会を大富座で開催	
1929	昭和4年	8	10	久邇宮多嘉王殿下、避暑のため諸寄にご来遊。9月22日にご帰還遊ばさる	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1929	昭和4年	11	26		温泉町職業紹介所設置
1929	昭和4年	◎	◎	県会の決議を経て、諸寄港湾修築(工費19万円)の起工式挙行	
1930	昭和5年	3	1	浜坂小学校御真影奉安殿及び二号館完成	
1930	昭和5年	3	17	浜坂2335番地の1に昭和自動車株式会社設立(S15.6.20解散)	
1930	昭和5年	3	30	浜坂小学校が、奉安殿前庭に楠木正成の銅像を建立	
1930	昭和5年	4	4	浜坂町立技芸実修学校を浜坂小学校校舎内に併設	
1930	昭和5年	10	4	町立三尾尋常小学校改築落成式	
1930	昭和5年	10	14	藤尾の岡本武雄が、藤尾部落養蚕組合主催秋繭品評会にて、美方郡蚕業組合大庭区長株本秀より三等賞受賞	
1930	昭和5年	◎	◎	居組の朝日・春日・弥栄・幸栄・北星の底曳5隻が、綱掛より流失遭難	
1931	昭和6年	5	27	海軍記念日、浜坂小学校は大富座において、映画「陸海軍大演習」観覧	
1931	昭和6年	7	18	国鉄諸寄仮停車場開業・季節営業の臨時駅(S13.6.1諸寄駅に格上げ)	
1931	昭和6年	7	21	諸寄仮駅新設	
1931	昭和6年	7	◎	大阪地方専売局、浜坂煙草販売所設置	
1931	昭和6年	9	15	久斗尋常高等小学校校歌制定	
1931	昭和6年	12	1	久斗小学校に女子補習学校開設	
1931	昭和6年	12	22	満州に出征の鳥取歩兵40連隊1ヶ大隊を浜坂・諸寄小学校児童が駅で歓迎	
1931	昭和6年	◎	◎	浜坂町公会堂竣工	
1932	昭和7年	1	◎		奥八田尋常高等小学校が石橋地区から石橋679に移転
1932	昭和7年	3	8	居組の底曳船神宝丸、居組港口で暴風雨のため遭難。救助に向った2名を合わせ4名死亡	
1932	昭和7年	3	14	諸寄小学校赤十字団が、日本赤十字社より表彰状を受ける	
1932	昭和7年	4	1		照来郵便取扱所が照来郵便局となる
1932	昭和7年	5	30	軍艦「あおい」入港、浜坂小学校児童が乗船参観	
1932	昭和7年	6	◎	赤崎分教場が、赤崎小学校として独立認可された	
1932	昭和7年	8	14	諸寄静岡町大火、16戸焼失	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1932	昭和7年	9	18	浜坂小学校は、満州事変1周年記念日に遙拝式、神社参拝、旗行列	
1932	昭和7年	9	19	浜坂小学校は、在満出征兵士に慰問文発送	
1932	昭和7年	10	11	美方郡木炭同業組合第2回木炭品評会にて、岡本武雄の白炭が三等賞を受ける	
1932	昭和7年	11	28		熊谷尋常小学校の校舎改築落成式
1932	昭和7年	◎	◎	浜坂海岸の砂防造林事業に着手	
1933	昭和8年	1	7	鹿間に久斗小学校の分教場開設	
1933	昭和8年	6	8		温泉町役場新庁舎(鉄筋コンクリート造)改築落成
1933	昭和8年	6	13	久斗山の山本美吉が、兵庫県より蠶蛆駆除予防督励委員を囑託された	
1933	昭和8年	6	20	浜坂公会堂で国際連盟事務局長澤田節蔵の講演会	
1933	昭和8年	9	22	三尾地区内簡易水道新設工事施行の件を議会可決。(工費6500円)	
1933	昭和8年	10	21	細見亮市寄附の大庭小学校校舎落成上棟式	
1934	昭和9年	1	22	国・指定文化財(名勝・但馬御火浦、浜坂東海岸)	
1934	昭和9年	2	8	豪雪により久斗山小学校校舎二階二教室の屋根倒壊(児童6名が死亡・けが20数名)	
1934	昭和9年	2	14	S8.2.29に夏田金造が芦屋沖合で人命救助、兵庫県知事より受賞	
1934	昭和9年	3	13	浜坂小学校で建武中興600年記念講演、尋常5年以上が聞く	
1934	昭和9年	4	1	東京にて小学校教員国民精神作興大会があり、浜坂小学校の小西校長・杉谷訓導が上京	
1934	昭和9年	4	1		熊谷尋常小学校に高等科併設「熊谷尋常高等小学校」と改称
1934	昭和9年	4	◎	対田氏神弥栄神社改築竣工	
1934	昭和9年	4	◎	兵庫県木炭検査浜坂支所設置	
1934	昭和9年	9	11	久斗山尋常小学校が暴風雨による被害を受け、校舎の半分を流出	
1934	昭和9年	9	21	室戸台風来襲、浜坂・大庭・西浜地区とも田畑、家屋等大被害	
1934	昭和9年	9	21		室戸台風来襲
1934	昭和9年	11	22	浜坂臨時土木出張所発足	
1934	昭和9年	12	13	久斗尋常高等小学校講堂兼屋内運動場・家庭科室及び用務員室建築	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1935	昭和10年	3	13	三谷と浜坂地区地主会が復旧組合事業進行に関し相談会を実施、復旧組合代表谷田一平太。戸田、七釜地区も同様	
1935	昭和10年	3	16		中辻大火(死者5名・焼失家屋72戸)
1935	昭和10年	4	28		温泉町公会堂にて美方郡教員精神作興大会
1935	昭和10年	5	3	軍艦「鬼怒」入港、浜坂小学校児童が浜で歓迎	
1935	昭和10年	5	8	岸田川水害予防組合設立認可	
1935	昭和10年	5	15		八田尋常高等小学校講堂及び校舎増改築落成式
1935	昭和10年	5	16	久斗山尋常小学校校舎落成	
1935	昭和10年	8	1	居組補習学校・青年訓練所廃止、青年学校となる	
1935	昭和10年	11	3	浜坂小学校は、明治節拝賀式と楠公銅像除幕式	
1935	昭和10年	◎	◎	大庭小学校奉安殿新築落成式	
1935	昭和10年	◎	◎		桧尾分教場落成式(S9室戸台風で流失)
1935	昭和10年	12～	◎	S11.3までの降雪は未曾有の積雪で約8尺、80余日にわたる間交通途絶	
1936	昭和11年	1	21	大雪で大庭小学校は10日間臨時休校。後山部落の家が倒壊	
1936	昭和11年	1	◎	槍ヶ岳北鎌尾根において、浜坂の加藤文太郎遭難	
1936	昭和11年	1	◎	大雪のため諸寄小学校は5日間臨時休校	
1936	昭和11年	2	4	大暴風雨のため、浜坂小学校校舎屋根瓦飛散、全校舎漏水。	
1936	昭和11年	4	1		兵庫県種畜場但馬分場美方種牛所(中山)の創設
1936	昭和11年	4	3	満願寺において天保8年大飢饉百周年忌の大施餓鬼、浜坂小学校高等科参列	
1936	昭和11年	4	25	浜坂小学校作法室にて美方郡西部教員精神作興大会	
1936	昭和11年	6	27		青下火災 6戸全焼
1936	昭和11年	7	13	久斗小学校において赤崎・御火浦・久斗山三小学校の陸上競技会	
1936	昭和11年	9	19	正午より浜坂町防空演習実施。浜坂小学校も第三校時に防空演習実施	
1936	昭和11年	9	30	久斗小学校奉安殿竣工式	
1936	昭和11年	◎	◎	美方郡西部相撲協和会発足、東西の番付表作成	
1936	昭和11年	◎	◎		熊谷小学校創立60周年記念祝賀会
1937	昭和12年	3	5		隔離病舎及び火葬場に関する事務を共同処理するため、温泉町・照来村・八田村で衛生事務組合を設立
1937	昭和12年	3	14	浜坂小学校で、五力条御誓文発布70周年記念式	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1937	昭和12年	4	1	浜坂尋常高等小学校講堂新築(鉄骨スレート、平屋建)	
1937	昭和12年	4	15	諸寄小学校奉安殿新築、楠公銅像建立	
1937	昭和12年	4	20	二日市国正寺鑄鐘	
1937	昭和12年	4	21	浜坂小学校講堂竣工落成式と尊徳翁銅像除幕式	
1937	昭和12年	5	15	諸寄尋常高等小学校校舎新築移転(静岡下之町)	
1937	昭和12年	5	16	居組尋常高等小学校増改築により校舎移転	
1937	昭和12年	8	1		丹土はねそ踊保存会設立
1937	昭和12年	8	9	第五動員下令により、浜坂町出身在隊者、応召者の多い歩兵第40聯隊は、北支那方面に出動のため編成地鳥取を出発	
1937	昭和12年	10	27	浜坂小学校では、出征将兵に慰問文と図画を全校生各1点宛提出	
1937	昭和12年	11	◎	浜坂町役場を浜坂1352番地に新築	
1937	昭和12年	12	27	久斗小学校で楠正成と二宮金次郎像の除幕式	
1937	昭和12年	◎	◎		栃谷口火災
1938	昭和13年	4	◎		温泉幼稚園開設
1938	昭和13年	5	4	浜坂銀行と香住銀行が合併	
1938	昭和13年	5	22	5/19の徐州占領を祝して浜坂小学校は祝賀旗行進	
1938	昭和13年	5	30		八田村役場建築
1938	昭和13年	6	1	諸寄駅が仮停車場から正式駅に格上、駅舎落成式(S6.7.18臨時駅として開業)	
1938	昭和13年	7	10	大庭村役場発行「村報大庭 事変記念創刊号」が出る	
1938	昭和13年	7	10	第六動員下令。新設の歩兵第140聯隊に浜坂町出身が多く応召、北支那方面に出動のため編成地鳥取を出発	
1938	昭和13年	7	30	宇都野神社にて武運長久祈願祭挙行。浜坂の学校全生徒参拝	
1938	昭和13年	11	29	岸田川水害予防組合主催により、福富地区内の工事現場において岸田川改修工事起工修祓式実施	
1938	昭和13年	12	15	経済戦強化週間実施	
1939	昭和14年	3	28	大庭診療所にて大庭婦人会総会。講師は、関管長の前線慰問行脚に随行した山田無文師	
1939	昭和14年	4	1		温泉町消防組解散、警防団設置
1939	昭和14年	4	20	新生大庭警防団結団式	
1939	昭和14年	5	16	久斗尋常小学校託児所開設	
1939	昭和14年	7	28	久斗尋常小学校で清和会講演会と映画会	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1939	昭和14年	8	8	浜坂尋常高等小学校の高等科女子と技芸女学校生徒が、出征軍人家族慰問奉仕の洗濯に出る	
1939	昭和14年	9	10	美方郡西部相撲・剣道協和会設立。満願寺境内にて第三回大会開催	
1939	昭和14年	9	10	久斗尋常高等小学校、高一岡本和子が、第1回小学校児童報国養蚕4等賞を受ける	
1939	昭和14年	12	1	防空演習開始。浜坂尋常高等小学校は、興亜奉公日訓話、防火デー訓話	
1939	昭和14年	12	20	浜坂町浜岡町の大富座、火災焼失	
1940	昭和15年	3	5	浜坂尋常高等小学校5年生以上、紀元2600年記念伊勢参宮旅行	
1940	昭和15年	3	6	久斗尋常小学校、紀元2600年記念伊勢参宮旅行	
1940	昭和15年	3	26	浜坂尋常高等小学校児童が、満蒙開拓義勇軍として出発する岸本禎治を浜坂駅に歓迎	
1940	昭和15年	6	20	浜坂の昭和自動車株式会社解散(S5.3.17設立)	
1940	昭和15年	7	◎		奥八田尋常高等小学校・霧滝分校を移転増築
1940	昭和15年	11	3	戸田の小林勝治・ひさが、多人数の子女(四男七女)を育成し、国本の培養に資するところ少なからずとして、厚生大臣より表彰される	
1940	昭和15年	11	8	久斗山養蚕実行組合第一班実行班が、晩秋繭改良に努力し、美方郡養蚕組合長より賞を受ける	
1940	昭和15年	11	10	紀元2600年を記念して浜坂尋常高等小学校と久斗尋常小学校は記念行事と旗行列。居組尋常高等小学校は、楠公・二宮金次郎像建立	
1940	昭和15年	11	◎		温泉町・部落会組織
1940	昭和15年	12	8	大政翼賛会大庭支部(兼大庭村常会)の結成式・結成報告会・第1回常会を診療所で開催	
1941	昭和16年	3	◎	紀元2600年記念として居組尋常高等小学校6年生以上23名が伊勢参宮旅行	
1941	昭和16年	4	1	大庭尋常高等小学校から大庭国民学校に改称	
1941	昭和16年	4	1	浜坂尋常高等小学校から浜坂国民学校に改称	
1941	昭和16年	4	1	久斗尋常小学校から久斗国民学校に改称	
1941	昭和16年	4	1	久斗山尋常小学校から久斗山国民学校に改称、高等科を併設	
1941	昭和16年	4	1	諸寄尋常高等小学校から諸寄国民学校に改称	
1941	昭和16年	4	1	居組尋常高等小学校から居組国民学校に改称	
1941	昭和16年	4	1		照来尋常高等小学校から照来国民学校に改称
1941	昭和16年	4	1		温泉尋常高等小学校から温泉国民学校に改称

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1941	昭和16年	4	1		熊谷尋常高等小学校から熊谷国民学校に改称
1941	昭和16年	4	1		春來尋常小学校から春來国民学校に改称
1941	昭和16年	4	1		八田尋常高等小学校から八田国民学校に改称
1941	昭和16年	4	1		奥八田尋常高等小学校から奥八田国民学校に改称
1941	昭和16年	6	2	浜坂国民学校は、食糧増産勤労奉仕作業実施	
1941	昭和16年	7	◎	兵庫県木炭検査浜坂支所を兵庫県浜坂林務出張所と改称	
1941	昭和16年	9	20	金属回収で久斗国民学校は、学校の鉄類を供出	
1941	昭和16年	10	30	美西リレー大会で諸寄国民学校は、初等科、高等科共に優勝	
1941	昭和16年	12	22	米英撃滅、浜坂町民大会	
1942	昭和17年	2	14	塩谷海辺で、漂着した機雷を海軍係官の指導で爆破	
1942	昭和17年	2	16	浜坂国民学校は、2/15シンガポール陥落の報に接し遙拝式挙行	
1942	昭和17年	2	19	大庭国民学校は、2/15シンガポール陥落の報に接し祝賀会・神社参拝・戦勝報告、出征兵の武運長久祈願	
1942	昭和17年	4	1		春來国民学校に高等科を設置
1942	昭和17年	5	7	全但銀行浜坂支店設立(S20.3.27神戸銀行に合併廃止)	
1942	昭和17年	6	8	浜坂国民学校は、大詔奉読式、増産勤労奉仕	
1942	昭和17年	6	27	久斗国民学校は、桑皮集荷	
1942	昭和17年	7	19	諸寄国民学校土俵竣工式	
1942	昭和17年	8	22	久斗国民学校、竹の子の皮採集	
1942	昭和17年	9	8	久斗国民学校、山芋出荷	
1942	昭和17年	9	21	災害、諸寄・居組各河川17ヶ所決壊又は破損	
1942	昭和17年	10	15	浜坂国民学校児童、梵鐘供出奉仕の歓送式に参列	
1942	昭和17年	10	21	兵庫県知事成田一郎、藤尾の大森少尉宅弔問	
1942	昭和17年	11	3	久斗国民学校は、明治節の式後、楠公・二宮銅像の送別式	
1942	昭和17年	11	4	浜坂国民学校は金属供出。銅像を中心として送り出す	
1942	昭和17年	11	7	四支部(浜坂・大庭・西浜)国民学校の戦中最後の音楽会	
1942	昭和17年	12	7	浜坂国民学校児童、監視噴慰問、本日より学校給食	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1942	昭和17年	12	8	浜坂国民学校は、宣戦布告1周年記念式、神社参拝、閲童式、「敵国降伏」の浄書会	
1943	昭和18年	1	1	浜坂国民学校冬期寒鍛錬日、雪中行進を実施	
1943	昭和18年	3	15	浜坂国民学校長小西義夫が、浜坂町銃後奉公会長山本宇之助より顧問に委嘱された	
1943	昭和18年	3	29		飯野大火(焼失家屋10戸)
1943	昭和18年	4	10	大庭村忠霊塔完成、竣工記念の余興	
1943	昭和18年	4	21	大庭村忠霊塔で大森特務少尉の公葬	
1943	昭和18年	4	30	浜坂町浜坂1240番地に兵庫県針配給株式会社設立	
1943	昭和18年	5	26	浜坂国民学校児童、桑の皮採取のため二日市へ	
1943	昭和18年	5	◎	久斗国民学校は、校庭を耕して藪畑を作る	
1943	昭和18年	6	8	大詔奉戴日。浜坂国民学校は、芦屋松原の開墾地に芋さし	
1943	昭和18年	6	◎	居組国民学校も校庭の掘り起こし開始	
1943	昭和18年	9	10	鳥取地震(震源地:気高郡豊実村野坂川中流域(北緯35度28.3分、東経134度11分)。17時36分54秒に発生。M7.2)	
1943	昭和18年	10	1	久斗山に電燈がついた	
1943	昭和18年	11	11	但馬通運株式会社浜坂支店開業	
1943	昭和18年	11	27	浜坂国民学校初等課六男女、ヒマ皮採取	
1943	昭和18年	12	30	北但林産工業株式会社設立	
1944	昭和19年	3	16	浜坂国民学校は、本日より10日間校庭開墾実施	
1944	昭和19年	4	20	浜坂国民学校の初等科5.6年高等科2年、清富川の川原を開墾	
1944	昭和19年	4	30	浜坂・三尾・諸寄・居組各漁業会設立	
1944	昭和19年	5	1		県立八田診療所開設
1944	昭和19年	5	21	大庭・浜坂・西浜各農業会設立	
1944	昭和19年	6	18	浜坂国民学校少年団、岸田川堤防の斜面に大豆まき	
1944	昭和19年	6	◎	諸寄国民学校少年団と婦人会が、水谷外各所に増産園開墾	
1944	昭和19年	8	◎	諸寄国民学校児童、戦没勇士の墓地清掃	
1944	昭和19年	9	1	浜坂国民学校で疎開児童交歓会。神戸市真陽国民学校男女150名	
1944	昭和19年	9	4	浜坂国民学校、炭焼き準備作業。初等科5年以上、田井の炭山へ	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1944	昭和19年	9	◎	居組国民学校は、9～10月にかけて、丸山・筒井・大山等に大豆栽培。麦、菜種も作る。供出薪のため駅道の桜も切る。学校と妙見山に炭窯を築き、炭を焼く	
1944	昭和19年	10	9	諸寄国民学校は、木炭検査150俵完了	
1944	昭和19年	11	3	諸寄国民学校は、明治節拝賀式。戦勝祈願のため神社参拝。旗行進	
1944	昭和19年	12	12	浜坂国民学校は、1億必勝祈願のため神社参拝	
1944	昭和19年	12	19	浜坂国民学校高等科生徒、宇都野神社参道の松根掘り	
1944	昭和19年	◎	◎		照来村の産業団体を統合し、農業会を設立
1945	昭和20年	2	12	浜坂国民学校初等科5年以上、宇都野神社参道の松材を駅に運搬作業	
1945	昭和20年	3	19	浜坂国民学校初等科3年以上、麦田の雪を消すための砂持ち作業	
1945	昭和20年	3	27	全但銀行浜坂支店が神戸銀行に合併廃止(設立S17.5.7)	
1945	昭和20年	5	7	浜坂保健所、新築開所式挙行	
1945	昭和20年	5	15	浜坂国民学校初等科5年全体、護国神社境内開墾	
1945	昭和20年	6	28		温泉町、照来村、八田村組合診療所開設
1945	昭和20年	7	8	忠霊塔において美方郡西部学徒隊結成式	
1945	昭和20年	7	19	諸寄国民学校は、海岸に塩田施設を作る	
1945	昭和20年	7	20	浜坂国民学校高等科2年男子、製塩作業準備のために浜へ	
1945	昭和20年	7	29	浜坂国民学校七生隊(少年団)岸田川河川敷の大豆の手入れ作業	
1945	昭和20年	7	30	午前6時30分、米軍機浜坂に来襲。諸寄駅構内に入る列車を銃撃	
1945	昭和20年	8	2	浜坂国民学校高等科1年男子、防空壕掘り作業	
1945	昭和20年	8	3	居組国民学校、製塩作業	
1945	昭和20年	8	10～	浜坂国民学校は、連続製塩作業	
1945	昭和20年	8	15	太平洋戦争終戦	太平洋戦争終戦
1945	昭和20年	9	7	浜坂国民学校初等科5年以上、上ラ山開墾作業、初等科3.4年草刈り	
1945	昭和20年	10	28	浜坂国民学校では、神戸市真陽国民学校児童送別式及び小学芸会	
1945	昭和20年	11	9	浜坂国民学校に進駐軍来校、校舎巡視	
1946	昭和21年	2	4	浜坂国民学校、居組国民学校御真影奉還	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1946	昭和21年	2	13	久斗国民学校は、一週間かけて教科書の回収・訂正・削除作業	
1946	昭和21年	5	3	浜坂国民学校校庭で行われた双葉山一行の相撲を、浜坂国民学校児童も見物	
1946	昭和21年	6	1	浜坂国民学校は、没収図書調査	
1946	昭和21年	9	30	浜坂国民学校奉安殿撤去	
1946	昭和21年	10	9	諸寄小学校は、勅語等の整理完了	
1946	昭和21年	11	5	久斗川改修起工記念式が天隣寺で行われ、役員、関係者一同記念撮影	
1947	昭和22年	3	◎	浜坂技芸実修学校閉校(M39創立)	
1947	昭和22年	4	1	浜坂国民学校から浜坂小学校に改称	
1947	昭和22年	4	1	久斗国民学校から久斗小学校に改称	
1947	昭和22年	4	1	久斗山国民学校から久斗山小学校及び大庭中学校久斗山分校となる	
1947	昭和22年	4	1	諸寄国民学校から諸寄小学校に改称	
1947	昭和22年	4	1	居組国民学校から居組小学校に改称	
1947	昭和22年	4	1	新学制により新制中学(浜坂・西浜・大庭)誕生(開校式・入学式S22.4.22)	
1947	昭和22年	4	1		照来国民学校から照来小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		温泉国民学校から温泉小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		熊谷国民学校から熊谷小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		春來国民学校から春來小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		八田国民学校から八田小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		奥八田国民学校から奥八田小学校に改称
1947	昭和22年	4	1		温泉中学校創立
1947	昭和22年	4	10		八田中学校開校(八田小学校・奥八田小学校に併設され、八田小学校区を第一教場・奥八田小学校区を第二教場とした。八田中学校の創立記念日は、S34.4.28)
1947	昭和22年	4	22	浜坂中学校・西浜中学校・大庭中学校の開校式・入学式(創立S22.4.1)	
1947	昭和22年	4	22		照来村立照来中学校創立・開校式
1947	昭和22年	4	◎		畑ヶ平開拓団入植(開拓予定面積270ha)
1948	昭和22年	5	1		温泉中学校独立校舎落成
1948	昭和22年	5	3		神戸司法法務局湯村出張所と改称
1948	昭和22年	5	22	兵庫県軍政部ハワードシステム浜坂小学校視察。スチムス中尉西浜中学校視察、民政部スターン浜坂中学校視察	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1949	昭和22年	6	◎	久斗山小学校育友会結成	
1949	昭和22年	6	23		照来中学校専用校舎建築起工式
1947	昭和22年	7	10		照来中学校育友会結成
1947	昭和22年	7	◎		照来中学校・校章制定(S26.12に2代目)
1947	昭和22年	7	◎		奥八田小学校育友会結成
1947	昭和22年	8	1		温泉町消防団が新発足(12分団・団員334名)
1947	昭和22年	8	12~ 15	東京大学本田正次教授外3名、香住・浜坂海岸視察調査	
1947	昭和22年	8	26	浜坂1383番地に北但製塩株式会社設立	
1947	昭和22年	10	1	大庭国民学校から大庭小学校に改称	
1947	昭和22年	11	27	天皇陛下山陰地方視察御通過につき、浜坂小学校児童も奉迎	
1947	昭和22年	12	22	浜坂小学校は、本日より毎週月・水・金に新教育研究協議会	
1948	昭和23年	1	16	兵庫県軍政部エンゲル少佐、浜坂小・中学校を視察	
1948	昭和23年	3	15	諸寄小学校育友会結成総会	
1948	昭和23年	3	◎	自治体警察、浜坂警察署発足(S26.9.30廃止)	
1948	昭和23年	4	18		照来村役場・庁舎改築落成
1948	昭和23年	4	◎	大庭小学校育友会結成	
1948	昭和23年	4	◎	諸寄小学校育友会結成総会	
1948	昭和23年	4	◎		温泉小学校育友会総会が開かれた
1948	昭和23年	5	1	東京大学本田正次教授一行、浜坂海岸調査	
1948	昭和23年	5	12	大富座において浜坂町農地委員会の農地改革による農地売渡式	
1948	昭和23年	5	19	西浜村農業共済組合設立	
1948	昭和23年	5	26	浜坂町農業共済組合設立	
1948	昭和23年	5	◎	児童福祉法施行、芥信幼稚園が保育園となる	
1948	昭和23年	6	12	大庭村農業共済組合設立	
1948	昭和23年	6	23		照来中学校専用校舎建築(起工式、S24.5.15落成)
1948	昭和23年	6	◎		照来小学校・役場間の電話架設
1948	昭和23年	10	1	浜坂高等高校(定時制)開設(分校・温泉町、射添村、小代村)	浜坂高校温泉分校(定時制)開校
1948	昭和23年	10	5	第一回地方教育委員選挙	
1948	昭和23年	10	◎	浜坂漁港の修築工事着工(S51.5完成)	
1948	昭和23年	10	◎	大庭小学校育友会結成	
1949	昭和24年	1	10	大庭中学校校舎落成式	
1949	昭和24年	1	◎		八田小学校に育友会が、図書文庫を設置
1949	昭和24年	2	4	大庭中学校育友会結成	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1949	昭和24年	2	17	進駐軍フィリップ、浜坂中学校視察	
1949	昭和24年	2	24	都市計画区域指定	
1949	昭和24年	3	1		照来中学校生徒共同組合創設、貯金部をつくる
1949	昭和24年	3	◎	諸寄小学校子ども銀行開設	
1949	昭和24年	4	◎		温泉小学校・子ども銀行が始まる
1949	昭和24年	5	1		温泉中学校校舎(独立校舎)落成
1949	昭和24年	5	15		照来中学校専用校舎落成式、子供銀行発足、購買部新設
1949	昭和24年	6	1		神戸地方法務局湯村出張所と改称
1949	昭和24年	6	19		照来中学校学校図書館開館
1949	昭和24年	6	◎	日本専売公社浜坂出張所開設	
1949	昭和24年	7	28	居組漁業会解散、居組漁業協同組合設立	
1949	昭和24年	8	31	日本相撲協会より、浜坂町の田井友一が「…門人ニ差加へ、地方世話人ニ取立置候…」の免許を授与された	
1949	昭和24年	9	26	諸寄漁業会解散、諸寄漁業協同組合設立	
1949	昭和24年	9	◎	大庭小学校移築校舎竣工	
1949	昭和24年	10	1	浜坂漁業会解散、浜坂漁業協同組合設立	
1949	昭和24年	10	1	浜坂中学校校舎落成式	
1949	昭和24年	10	7	三尾漁業会解散、三尾漁業協同組合設立	
1949	昭和24年	10	18	第四支部小学校連合運動会及び工作品展示会(浜坂小学校)	
1949	昭和24年	10	28	明星保育園創立	
1949	昭和24年	11	16		八田中学校体育館完成(竣工式)
1949	昭和24年	11	30	浜坂小学校が、体育モデルスクールとして第1回中間発表会	
1949	昭和24年	11	◎		奥八田小学校体育館竣工
1949	昭和24年	◎	◎		熊谷小学校教員住宅建築
1950	昭和25年	2	28	浜坂煙草商業協同組合設立(美方郡と城崎郡餘部村を範囲)	
1950	昭和25年	4	1	浜坂高等学校に昼間定時制が設置される	
1950	昭和25年	5	31	久斗小学校は、5/31~6/2まで農繁休業	
1950	昭和25年	6	7	浜坂小学校において教科書展示会	
1950	昭和25年	7	15	大庭中学校運動場完成	
1950	昭和25年	7	16	大庭中学校運動場完成記念全村運動会挙行	
1950	昭和25年	7	◎		奥八田小学校放送機設備設置
1950	昭和25年	8	10	美西中弁論大会に西浜中学校も初参加	
1950	昭和25年	9	3		ジェーン台風来襲

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1950	昭和25年	10	12	東京大相撲来町。浜坂中学校相撲部選手が、双葉山の指導を受けた	
1950	昭和25年	11	4	浜坂小学校6年生修学旅行、天ノ橋立	
1950	昭和25年	11	5	兵庫県中学校相撲大会において、浜坂中学校門脇幸夫、個人優勝	
1950	昭和25年	11	8	美西小中合同音楽会に西浜中学校も参加	
1950	昭和25年	12	◎		浜坂高等学校、温泉分校設置
1951	昭和26年	2	20	夜半浜坂高等学校の校舎西階段下から出火全焼	
1951	昭和26年	2	20	浜坂高等学校の火災により、浜坂小学校も講堂と便所の一部を残して全焼	
1951	昭和26年	3	10	久斗小学校運動場拡張	
1951	昭和26年	4	1	浜坂高等学校全日制高等学校を設置(普通科・家庭科の2科)・定時制課程を併置	
1951	昭和26年	4	◎		照来中学校生徒会を組織(会費徴収せず)
1951	昭和26年	4	26		照来中学校クラブ活動組織編成
1951	昭和26年	8	21	海岸保全区域指定(浜坂・居組)	
1951	昭和26年	8	21	浜坂漁港が第3種漁港に指定	
1951	昭和26年	8	21	居組漁港が第1種漁港に指定	
1951	昭和26年	8	23	久斗小学校校歌歌詞改定	
1951	昭和26年	9	◎		照来小学校水道工事完成・水不足解消
1951	昭和26年	9	◎		奥八田小学校ピアノ購入
1951	昭和26年	9	30	自治体警察、浜坂警察署廃止(S23.3発足)	
1951	昭和26年	11	7	西浜中学校校歌制定、美西音楽会に発表	
1951	昭和26年	11	12	浜坂小学校が健康優良賞を受ける	
1951	昭和26年	11	20	西浜中学校独立校舎新築落成式・記念展覧会	
1951	昭和26年	12	13	浜坂小学校新校舎へ移転(式典は12/15)	
1951	昭和26年	12	15	浜坂小学校本館及び中校舎の落成式・記念展覧会	
1951	昭和26年	12	◎		照来中学校2代目校章制定(初代はS22.7)
1952	昭和27年	1	18	浜坂高等学校二階建校舎(1号校舎)竣工	
1952	昭和27年	2	18		春来小学校講堂新築落成
1952	昭和27年	3	28	大庭・浜坂・西浜各森林組合設立	
1952	昭和27年	4	17	鳥取大火災発生。救援に浜坂町消防団出動	
1952	昭和27年	4	◎	全但バス藤尾線開通祝賀式	
1952	昭和27年	7	1		温泉幼稚園創立
1952	昭和27年	7	◎		春来小学校校歌制定
1952	昭和27年	8	8	浜坂高等学校校舎(2号校舎)竣工	
1952	昭和27年	8	19	赤崎大火災、15戸焼失	
1952	昭和27年	8	20	浜坂中学校雨天体操場竣工式	

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1952	昭和27年	8	◎		照来小学校の中校舎改築落成
1952	昭和27年	9	1	浜坂小学校体育館新築落成式	
1952	昭和27年	9	28	浜坂中学校相撲部、兵庫県中学校相撲大会に団体・個人共に優勝	
1952	昭和27年	9	◎		八田小学校の校庭に二宮尊徳像を建て除幕式挙行
1952	昭和27年	10	◎		照来小学校の校内放送架設(西沢甚平・西沢齊両氏の寄贈)
1952	昭和27年	11	1		照来村教育委員会誕生
1952	昭和27年	11	2	浜坂中学校相撲部、近畿中学校相撲大会に団体・個人共に優勝	
1952	昭和27年	11	10	浜坂小学校、立太子奉祝体育大会	
1952	昭和27年	11	10	第1回美西中学校駅伝で西浜中学校優勝	
1952	昭和27年	11	◎		照来小学校・校門標柱建設(育友会寄贈)
1952	昭和27年	12	29	諸寄漁港が第2種漁港に指定	
1952	昭和27年	12	29	釜屋漁港が第1種漁港に指定	
1952	昭和27年	12	29	海岸保全区域指定(諸寄)	
1953	昭和28年	1	◎		温泉小学校の校章できる(温泉♨を象徴し、小の字を組み合わせた)
1953	昭和28年	2	8~9	NHKが、浜坂針祭取材	
1953	昭和28年	3	16	西浜中学校2号館竣工	
1953	昭和28年	3	◎		奥八田小学校に電話設置
1953	昭和28年	4	1		浜坂高校温泉分校に専修科(女子、2ヶ年)設置
1953	昭和28年	4	1		照来村にバス開通
1953	昭和28年	5	1	居組保育所開園(居組小学校に併設・H21.3.31閉園)	
1953	昭和28年	6	◎		照来小学校校歌制定(作詞:下野金太郎校長・作曲:白谷徳広(大阪音楽学校教授))
1953	昭和28年	7	1	浜坂中学校講堂兼雨天体操場落成式	
1953	昭和28年	7	15	大庭小学校校舎南半分を改築竣工	
1953	昭和28年	9	25		台風13号来襲
1953	昭和28年	9	◎		八田小学校創立60周年記念式典挙行
1953	昭和28年	9	◎		奥八田小学校校歌制定(作詞:小谷享治校長 作曲:中尾和人(武蔵野音楽大学教授))
1953	昭和28年	10	1	浜坂高等学校創立5周年記念式典(校旗制定)	
1953	昭和28年	10	30		照来中学校いなごの試食会
1953	昭和28年	11	12	浜坂小学校が体育学習研究発表会で5年間の研究成果を公開	
1953	昭和28年	11	◎		奥八田小学校創立60周年記念文化祭(2日間)

歴史年表 ※月日の◎表示は年日の特定できないもの。また、明治6年以前は旧暦による。(更新日:H29.7.18)

西暦年	元号年	月	日	記事	
				旧浜坂町	旧温泉町
1954	昭和29年	3	8	森梅園彰徳碑、浜坂中学校前に建立	
1954	昭和29年	3	27		歌長大火(焼失家屋16戸)
1954	昭和29年	4	29		温泉中学校体育館落成
1954	昭和29年	6	1	諸寄幼稚園を諸寄小学校内に設置	
1954	昭和29年	7	22	浜坂小学校、県下健康学校に入選	
1954	昭和29年	8	5	浜坂小学校に鳥取放送局来校。声くらべ・腕くらべ 子供音楽会	
1954	昭和29年	9	4		照来村直営診療所設置
1954	昭和29年	9	30	大庭小学校校舎北半分を改築竣工	
1954	昭和29年	9	30	大庭中学校体育館新築	
1954	昭和29年	10	1	浜坂町、大庭村、西浜村が合併・新「浜坂町」誕生	温泉町、照来村、八田村が合併・新「温泉町」誕生